

赤十字国際ニュース

2025 年 第 59 号 2025 年 10 月 1 日
(通巻 第 1765 号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6674-1004

E-mail:kokusai@jrc.or.jp <https://www.jrc.or.jp/>

【速報】フィリピン・セブ島北部沖でマグニチュード 6.9 の地震発生、赤十字は迅速な救援活動を展開

2025 年 9 月 30 日午後 9 時 59 分（現地時間）、フィリピン・セブ州ボゴ市の北東沖を震源とするマグニチュード 6.9 の地震が発生しました。その後もマグニチュード 5.0 および 5.1 の余震を含む計 379 回の余震が記録されています（10 月 1 日午前 8 時時点、現地当局発表）。現地当局の震度階級¹（10 段階）では、最大震度 VII（7：非常に強い揺れ）がボゴ市を含む計 5 地域で観測され、セブ州は 10 月 1 日付で非常事態を宣言しました。

同日時点で、少なくとも 26 人の死亡と 147 人の負傷が報告されており、約 2 万人が避難しています。教会や住宅など 22 件の建物が被害を受け、道路や橋の損壊、停電、通信障害、さらにはショッピングモールで火災の発生も報告されています。余震が続く中、被害の全容はまだ明らかになっていません。



地震により損壊したセブ州の教会©PRC

■フィリピン赤十字社の対応

地震発生直後から、現地の赤十字社であるフィリピン赤十字社は住民の安全を確保するために注意喚起を行い、各支部・本社の職員やボランティアが即座に対応を開始しました。

¹ [PHIVOLCS Earthquake Intensity Scale](#)

被災地には、緊急医療サービス（EMS）チーム2班と救急車5台を派遣し、負傷者への応急処置や医療支援を行っています。また、被災した病院への支援として、医療資機材や遺体搬送用バッグの提供に加え、屋外に避難した患者や医療スタッフのためにテント設置も予定されています。現在も、被害状況の迅速なアセスメントと緊急支援活動が継続して行われています。



避難支援を行うフィリピン赤十字社の職員とボランティア©PRC



被災地の病院で応急処置を実施する EMS チーム©PRC

国際赤十字・赤新月社連盟は、フィリピン赤十字社と密に連携し、状況を注視しながら必要に応じて迅速な支援が行えるよう態勢を整えています。日本赤十字社も、現地と情報を共有しながら、今後の支援に備えていきます。



メールマガジン『赤十字国際ニュース』

赤十字が世界中で行っている人道支援活動の最前線と、それを取りまく最新ニュースをメールでお届けします。

メールマガジンへの登録は、左の画像をクリックしていただくか、二次元コードを読み込んでいただいた先の登録フォームからお願いいたします。

